

魚津市新庁舎整備検討委員会 第2回会議 会議録（要旨）

【開催状況】

- 1 開催日時 令和4年11月22日（火）13：30～15：40
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員（会長）、中才委員、野澤委員、鍼田委員、山本委員、米澤委員
（欠席）平田委員、松岡委員
 - (2) 市
副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員

【関連資料】

- 資料No.1 中期財政計画を踏まえた新庁舎整備の財源見通しについて
- 資料No.2 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について
- 資料No.3 新庁舎整備候補地について

【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 中期財政計画を踏まえた新庁舎整備の財源見通しについて
 - (2) 新庁舎整備に向けた「基本理念・基本方針」の検討について
 - (3) 新庁舎整備候補地について
- 3 次回の会議日程
- 4 閉会

【以下、質疑、意見等】

（以下、主として資料No.1に関連した質疑、意見等）

委員 新庁舎の面積について、1万㎡でそのまま進めていくのか、想定事業費（70億円）の中での整備を想定しているのか。事業費の想定が甘い気がしている。建築資材は高騰しているので、この金額でいけるか不安を感じる。

事務局 1万㎡は本庁舎、第1・第2分庁舎、健康センターを現状の面積のまま統合した場合の面積であり、市役所の機能として必要となる面積の最大値と考えている。これから必要な機能を考えた上で必要な面積に絞っていく。民間施設等と複合化した場合には当然面積は大きくなるが、増加する分の財源の手当ては別途検討していく必要がある。建設単価の高騰は懸念しているところであり、今後実勢価格を見ながら精査し、最終的な事業規模を確定させたい。

副市長 ご指摘の通り、建設費は建設単価に左右される。この面積は現時点のものであり、窓口のデジタル化、DX化やテレワーク化などが想定されていない。今後そういったものを踏まえた上で、どれだけの面積が必要か検討していきたい。

委員 償還額が約 2.8 億円とのことだが、人口減少が進む中でそうしたペースで償還できるのか。行政サービスを削ることになるのではないかと見込んでいるのか。

事務局 市税については人口減少に伴って今後減少する一方、全額ではないものの、市税減を地方交付税で補填されることを見込んで計画を立てている。

副市長 市税は下がるが地方交付税があるため急激に市の歳入が減少するわけではない。今後必要となる経費も踏まえた返済計画を立てている。ただ、不測の事態で多額の経費が必要になる場合に備えて、できるだけ多くの金額を積み立てたいし、建設費も縮減したいと考えている。

委員 将来的な職員の削減目標はどの辺に置いているか。

副市長 人口の減少に合わせて、職員数を人口 100 人に 1 人にするという考え方もあるが、直近では働き方改革などで少し増えたりすることもある。

委員 支出削減に向けて考えている方策はあるか。

副市長 公共施設の総量抑制に向けた取り組みにより、物件費を圧縮して成果も出てきている。今後更に進めていきたい。

委員 70 億円の予算に反対しているわけではない。削るところは削る、市民サービスはなるべく維持するという観点で取り組みを進めていただきたい。

会長 市として財政の見通しは立っているとのことだが、今後の資材単価の値上がりも想定し、節約や財源確保をお願いしたい。

委員 毎年 2 億円を積み立てるのは簡単なのか、難しいのか。

事務局 厳しい財政状況の中、健全化を進めながら財政調整基金に 2 億円をこれまで積み立てて来た経緯がある。2 億円は現実的な金額と見込んでいるが、できれば 2 億円以上を積み立てていきたい。

委員 償還額が 3 億円弱となったときの返済の見通しはどうなっているのか。

事務局 令和 8 年度までは建設費の頭金に相当する 20 億円を積み立てる。令和 9 年度以降は 2 億円程度を減債基金に積み立てていく。令和 15 年度以降の償還は減債基金で対応できると考えている。令和 15 年度以降も積み立てを続けていきたいと今のところは考えている。

委員 水族館もかなり老朽化している。他にも施設がたくさんあると思うが、それらに要する経費はどう考えているか。

副市長 水族館や埋没林博物館などの維持は大きな問題だが、現時点では維持していくこととしている。更新のタイミングはかなり後となるが、市の負担が大きくなるような形で維持を図りたいと考えている。市だけで整備するのか、民間や他の機関の力を活用するのか、どういった方向で整備するかは知恵を絞る必要がある。先ほども言った通り、積立ては積極的に行っていく。いろいろな努力をこれから更にしていく必要があると思っているので、皆

様のご意見をしっかり反映し、心構えをしっかりと持って進めていきたい。

委員 現時点では財政の見通しを具体的に詰めていないとのことだが、次回の会議までに実装的なプランが提示されるのか。借入金について、一定期間で償還していく計画とのことだが、資料2では今後の人口減少が示されている。市税の減収分は地方交付税で補えるという話があったが、地方交付税が今後どうなっていくか不透明な点もあると思うので、十分にリスクを考慮して、安全な計画の立案をお願いしたい。もう一つ、20年後の予算規模というのはどの程度を想定しているのか。

事務局 来年3月の時点で、基本方針・基本理念と整備場所をいったんとりまとめた上で、次年度からは本委員会で基本構想の作成について議論いただきたい。基本構想の中で、庁舎の規模や統合の話を検討していくことになり、そこがある程度見えてこないと事業費も見えてこない。そのため、より詳細な財政の見通しをお示しできるのは来年度以降になる。将来の予算規模を正確に読むことは難しいが、現在の標準財政規模（市税などの一般財源）は110億円ほどであり、償還の計画を維持できるように進めていきたい。

（以下、主として資料No.2に関連した意見、質疑等）

委員 基本理念で、「人が集まる」ということがキーワードになっている。しかし、前回の会議であまり市役所に来ないと言っていた委員もいた。市民は、平日日中しか開いていない中でしぶしぶ市役所に来ているところがある。これからは、行かなくてもいい、行く必要がないほど便利になるということが求められるのではないか。そう考えると、わざわざ土地代の高い現在地に建てる必要があるのか。例えば、片貝の方に建てて、現在地は商業施設にして経済を回すとか、そういうやり方で財源を確保することはできないか。10年後はさらにデジタル化・オンライン化が進んでいると思うので、土地代の高い現在地ではなく、郊外に建てるのも一つではないか。また、人を集めるという点でいえば、市役所と水族館を複合化すれば集客が図れるのではないか。いずれにしても、現在地にこだわってほしくはない。

事務局 市の方針としては、魚津駅を中心とした立地適正化計画があり、駅を中心とした一定の区域に施設や人口が集まってくるような施策を展開している。市役所も計画の一部に位置付けられ、人が集まるという点で一定の役割を果たすと考えている。また、災害時に集まれる場所、災害対策本部といった防災の面からも、中心市街地での整備を考えている。

水族館との複合化の案が出たこともあるが、建設方法や将来的な水漏れの心配など、様々な懸念があり現実的には難しい。水族館のような集客施設については、民間と協力して建設する手法も含め、今後幅広く検討していくことが必要だと考えている。

委員 市街地の活性化であれば、商業施設にした方がよほど活性化と思う。また、駅周辺を活性化したいというのは分かるが、そもそも住民は駅をあまり利用しない。幹線道路沿いを活性化した方が市民のためになるような気がしていて、駅周辺を活性化したいというのは、行政の一方的な思いという感じがする。

副市長 これから公共交通の重要性が増す中、ある程度は駅周辺に機能集約したほうが有効と考えている。いずれにしてもトータルで考えていく。できるだけ商業的な面も盛り込んで

いきたい。

委員 開かれた市役所という観点と、事務効率の面とのバランスを図るべき。窓口はオープンの方がいいと思うが、事務作業を集中して行うには個室の方がよい。機密保持のこともあるので、全部をオープンにすべきではない。先ほど委員から商業施設の意見があったが、1階は民間に貸し出すなどを考えたほうがよい。駅周辺には日中食事するところが少ないので、新庁舎整備を機会に民間の力を借りながら検討されたほうがよい。

デジタル化、DX化について、方向性はいいと思うが、現実にはサイバー攻撃のような事案も生じている。建て替えの際は、システムダウンなど万が一の可能性も踏まえて検討されるのがよいと思う。

委員 基本理念について、そもそも市役所は何のための建物かと考えてみると、個人的には職員の働く場、そして災害時の拠点という2点が大きいと思っている。その点は押さえつつ、プラスアルファで、商業施設やサービスといったものを加えていけばいいのではないかと考えている。基本理念のB案に「新しい時代に応える」とあるが、そういった将来を見据えた施設であってほしいという思いがある。

委員 まず、資料1について意見を述べさせてもらいたい。予算の組み方はしっかりされていると思うが、魚津には合計13の地域がある。今後、地域への予算の削減、締め付けはやめてもらいたいと思う。庁舎建設は大きな事業であり、当然財政も厳しいと思うが、各地域も厳しい。人口の減っているところは見捨てるというような考えでいくと、地域の方でも反発を受けると思う。財政が厳しい中でも、やはり市と地域の協力関係があって市政が成り立っているということはしっかり考えてもらいたい。

基本理念案についてはどれもよいと思うが、C案は人が集まりそうな感じがあってよい。私自身、市役所は堅いところ、難しいところ、行きにくいところという感じが頭の中にあっただ。今後は市民と親しみを持ちながら一緒にやっていくという姿勢であってほしい。また、現在市役所には一日何人の来庁者がいるのか。それは参考に知りたかった。

人口減少について、市役所は何かしようという動きは考えているのか。簡単な問題ではないと思うが、人口を増やすための努力も大事なことである。人口が減れば減るほど市民一人ひとりの負担が大きくなってくると思うので、そういったことも考えてもらいたい。

委員 先程の話にもあったが、将来、市役所に足を運ぶ必要のある人はほとんどいないという時代になるかもしれないし、一方で、どうしても市役所に来なければいけないという人がいるかもしれない。そう考えると、将来の予測というのはそう簡単にはできないと思う。基本方針については、A案でお願いできないかと思う。質問だが、基本理念については、今日この場で全てを承認して決めるということなのか。

事務局 基本理念と基本方針については、この委員会で決めていただけないかと思っている。この委員会で報告書を取りまとめ、市長に提出するという流れになる。

委員 了解した。私の思いとすれば、コロナがもう少し収まれば、市長のタウンミーティ

ングをもう少し積極的に実施してもらいたい。地域振興会にやりたいということを伝えれば、皆さん出席されると思う。一昨年に実施したような市全体でのタウンミーティングではなく、それぞれの地区ごとに行うという方向性が必要だと思う。

委員 まず、財政の見通しについて聞きたい。建設費について、資料にある70億を上限として考えているのか。例えば、人口が減って収入が無いというようなことが生じたらどうするのか。

事務局 現状では、70億円という想定で財政計画を立てており、そこから規模が増えると、計画が厳しくなることは考えられる。そのため、規模をできるだけコンパクトにして事業費を抑える、また、人口減など将来を見据えて見通しを考えていく必要がある。現時点で詳細な見通しは示せないが、今後詳細な検討を踏まえて事業規模を示し、委員の承認を得て、新庁舎の建設を進めていくものと考えている。

委員 そのような話を聞くと、財政見通しについては、今日説明しても意味がないのではないか、時間の無駄だと思って聞いていた。詳細なことは決まっておらず、何のために意見するのかよく分からないと思い、確認のため質問した。

基本理念に関しては、A案でよいと思う。人が集まる、集まらないという話をされたが、市役所に人を集めないといけないのか。例えば、図書館で住民票が発行できるように、市役所でしかできないことを他の場所でもできるように進めていけばよいと思う。市庁舎をそこまで大きくして、予算を使う必要もないと思う。基本方針に示されている、市のシンボルとなる庁舎デザインなど、そういったものもいらないのではないか。実用的な部分を取りまとめたような庁舎にすればいいと思っており、ちょっとしたお洒落にお金をかけることは必要ないと思う。

委員 私はよく市役所に行く立場であり、住民の一人ひとりを守っていくためには、市役所はなくてはならない場所だと思う。人口が減少し、子供も減る一方なので、将来どうやって支えていくのか、そういった視点にも踏み込んだうえで新庁舎整備を進めてもらいたい。例えば、数年前に学校の統合があったが、将来の子供たちのことを考えると、あの学校統合はよかったと思う。お金は使ったが、いずれそうならざるを得ない話だったし、将来子供たちが減り、苦しくなることを考えると、いち早くやってよかったと思う。そういうふうに、一つひとつのことを、この先5年、10年、20年と考えながらやってほしい。そのように願っている。

基本理念だが、A案がよい。他の案もよいが、安心安全を支えるという観点が含まれているのはA案である。新庁舎整備については、いかにして余計な金をかけないか、ここを基本にしてもらいたいと思っている。これは一番大事な話であり、私たちもいい加減な考えではいけないと思う。

委員 基本理念について、この中で選ぶとすればA案でお願いしたい。民間ではなかなかできない、安全を支えるといったメッセージがある。また、本市への誇りと愛着というもの

は、育てるというよりは、市と接していく中でできていくものであり、そうなればよいと思って選んだ。現代は不確実性の高い時代と言われており、将来は何が起こるか分からない。そのため、庁舎の機能として、大きな変化があった時に用途をすぐに変えられる、オープンフロアでレイアウトをすぐに変更できる、そういった流動的な配置替えができるような庁舎になっているとよい。流動的にするためには、物を少なくしなければいけないし、物が少なければ、一部のスペースをテナントに貸し出すなど、そういったことも簡単になるのではないか。

また、人口が減っていく中、市役所の役割は変わってくると思う。例えば、大型ショッピングセンターの一部がコロナワクチンの接種会場になっていたり、ショッピングセンターで市役所のサービスを受けられるようになっていたりすると、それだけでも便利と思う方はいるだろう。もちろん、市役所にも夜間窓口はあるが、それに加えて、様々な場所でサービスを受けられるとよいのではないか。例えば、税務署の場合だと、オンラインで証明書を取得できて便利である。最近は郵送に日数がかかることも踏まえて、省力化できる場所がないか考えてもらいたい。先程別の委員が言われたように、市役所に来庁している方の何割がどういった要件で訪れているのかということのカウントし、分析してみると、よりよいサービスを提供できるようになるのではないか。

委員 基本理念について、理念としてはどれも大切なことだが、シンプルでわかりやすいもの、理解されるものを選んだらいいと思っている。A案かB案かで、まだ決めきれていない。別の委員が言われるように、デジタル化はどんどん進めていかなければいけないし、それほど人が市庁舎に来るのかという疑問はあると思う。しかし、行政のサービスは、証明書を出したり、助成金を出したり、そういうことだけで済むのかという思いもある。やはり、人と人との触れ合いがないと、市として市民の安心安全を守る、やさしい庁舎にするということにはすぐわかない。建物だけの市庁舎になっては困ると思っている。また、財政の問題が大切なことは分かるが、肝心要の市庁舎の話がちよっと置き去りにされていないかという気がする。私たちは、市庁舎を建てるためにはどうしたらいいのかということをしっかり考えていくべきだと思う。

会長 私からも意見を述べさせてもらいたい。まずは、行政のほうで市民ニーズを把握してもらいたい。市民アンケートやタウンミーティングを実施し、市役所の基礎データの一環としてもらいたい。民間企業では、企業体力などと言われるが、よく測定がされており、経営者も真剣に把握していると思う。市の方でも、何のための市役所なのか、市民目線から洗い出してもらい、優先順位を付けたうえで達成してってもらいたい。総合戦略や総合計画をさらに一步深掘りして、見直しを進めてもらいたい。また、今後の子供たちのためには、人と人との触れ合いは確保してもらいたいと思う。

委員 A案がよいが、さらに短い言葉にしていきたいと思う。

委員 正直、どの案もそこまで変わらないかと思っている。A案は4つの基本方針のうち、3の要素だけが入っておらず、どうしてかと思う。繰り返しになるが、3のコンパクトな庁舎というのはかなり重要なことだと思うので、A案に3の要素も組み込んでほしい。

委員 今委員が言われたことについて、A案にコンパクトな庁舎という要素を入れると、一つの理念にまとめるのが難しいという事情があったのだろう。A案で構わない。

委員 A案がよい。

会長 ほとんどの方がA案だったため、基本理念はA案で取りまとめることとしたい。
(委員一同 了承)

(以降、主として資料No.3に関連した意見、質疑等)

委員 いろいろな考え方もあるかと思っているが、今現在の現実的な状況を考えると、A案がベストだと思う。

委員 A案がよいと思うが、敷地面積については、将来のことも考えてコンパクトに、必要最小限で最大限の効果が発揮できるようにお願いできればと思う。

委員 いろいろなことを考えてA案をお願いしたいと思っている。魚津市は土地も少ない。コンパクトなものをお願いしたい。

委員 私もやはり、A案と思っている。市庁舎部分はコンパクトにして、複合施設を一緒にするなど、市役所だけの用事で来るような場所にならないような、そういった面積の使い方としてもらいたい。

委員 まだ8年も9年も先の話であり、今の段階でどちらがよいというつもりはない。もう少し検討、あるいは具体的な方向を考えたいと決めておきたいと思っており、態度は保留とさせていただきます。

委員 A案でいいと思うが、他の委員からもあったようにすぐに決めるのもいかがかと思っている。

委員 見たとおり、A案の方は条件がよいようであり、A案でお願いしたい。

委員 A案でよい。

委員 この会議は場所の選定が一丁目一番地と思っている。その選定にあたっては、集ま

りやすさとか目的とか、活性化策ということが非常に重要と思っている。今回は二者択一になっているが、この他の選択肢はあったのか。

事務局 この2か所以外では4か所を検討した。具体的には旧総合体育館・吉田グラウンド、大町小学校跡地、駅前地域での都市開発、駅との複合化を考えた。色々と検討した中で、市庁舎も古くなっているため、防災拠点や安全面を考えると、早期実現性を重視してA案・B案を提示した。

委員 A案かB案かで言えばA案になると思う。他のところはどうだったのか。このままでは決められない。例えば魚津駅の上に建てて高層化するという案もある。もっとゼロベースで提示してもらいたい。

事務局 もともとは旧総合体育館・吉田グラウンドをC案として考えていた。しかしながら、国道沿いで立地適正化エリアの範囲外となること、県警統合庁舎の誘致先となることを含めて、この場で提示することができなかった。

委員 場所を決めるのが早すぎる。もっとメリット、デメリットを深く掘り下げたほうがいい。50年、100年に一度のものを1ヶ月2か月で承認しろと言われても困る。他にどういった候補地があったのか、もっと議論したほうが市民にも説明しやすいのではないか。

事務局 駅との複合化の可能性については市の保有地でなく鉄道事業者の保有であるため、それぞれの会社の方針があり、なかなか市がお話できるようなことではないということ、更には鉄道との兼ね合いでどれだけの費用がかかるか全く読めないというようなことを踏まえて、庁内の検討会の中で案として挙げるところまではいかないものと整理したところである。大町小学校跡地は史跡ということで文化財の指定をしており、ほとんど建物を建てることができない場所であり新庁舎として使える面積は極めて限られる。そういった観点から同様に案として挙げられないものとして整理した。これまでの経過をご理解いただきたい。

委員 現在地がやりやすいとは思いますが、決めるにあたって選択肢を十分に検討した上で今のような話をしてほしい。今日決めなくてもいいのではないか。

委員 A案かB案かならA案だが、市役所前公園はつぶしてほしくない。現在の公園のように緑豊かなものにするには時間がかかる。ホテルの景観にも影響する。コンパクトにしたリ、高さを出したりすれば十分な敷地がある。

事務局 資料記載のとおり、公園をなくさないことを前提にしている。こちらの思いとしては、新庁舎と公園との融合を図りたい。

委員 断然A案がよろしい。いろいろ可能性はあるが、土地を新たに求めるコストと時間を考慮すると、特段現在地で都合が悪くなければA案がよい。

委員 A案で行くのであれば、借地をなくしたほうがよい。交渉されたほうがよい。

事務局 A案となった際には地権者の方に誠意をもって購入に向けた話を進めていきたい。

委員 交渉には知恵と人脈が必要。ぜひ進めていただきたい。

会 長 事務局には整備候補地についてはA案B案を説明していただいた他、いくつも候補地を事務局側で検討し、敷地の接点や接道、整備に関して問題があるかどうかなどを検討の上、二つに絞っていただいたことをご理解されたい。皆様の意見を集約すると、保留の方もいるが基本的にはA案に賛同いただいたということなので、方向性としてはA案を基軸に報告書をつくっていくということでした承りいただいてよいか。

(委員一同 了承)

以上